

活動の報告

活動の名称	2025年度社会福祉子ども学科ホームカミングデー	参加人数	31名
活動の概要			

第一部は「災害時に私たちができる支援を話し合おう」をテーマに、まず社会福祉学科2期生の内山智裕氏（社会福祉法人けやきの郷）から「障害者支援施設における災害時支援の実際」の講演いただいた。施設入居者は自宅被災とは見なされず、仮設住宅に入居できないという実態等、被災して初めてわかる生活継続の困難さの報告があった。加えて、本学准教授の川田虎男氏及びボランティアサークルによる「災害時における地域福祉・学生ボランティア活動」では、日本は災害が常にある中で生活していることは、学生ボランティアは災害時の有益な支援として定着しつつあることについて実態を踏まえて報告があった。

第二部では、10年を超える卒業生グループでは「職場における災害での悩み」について、10年以内の卒業生グループでは「最近の職場で頑張ったこと・業務状で困難だったこと」などを共有し、教員を交えつつ卒業生同士で交流を図ることができた。

